

Q&A

Q：MDC05に該当するが、心不全がない場合（心不全以外の疾患閉塞性動脈疾患など）はどのように扱うのか。
 A：心不全がない（該当しない）場合は入力を要さない。

(19) 狭心症、慢性虚血性心疾患（050050）における入院時の重症度：CCS分類

050050 狭心症、慢性虚血性心疾患の場合に、入院時のCCS分類を“1”～“4”までの値により入力する。

値	分類	所見
1	Class I	日常身体活動では狭心症が起こらないもの。たとえば歩行、階段を登るなど。しかし、激しいか、急激な長時間にわたる仕事やレクリエーションでは狭心症が起こる。
2	Class II	日常生活にわずかな制限のあるもの。早足歩行や急いで階段を昇る、坂道を上る、食後や寒冷時、風が吹いているとき、感情的にストレスを受けたとき、または起床後数時間以内に歩いたり階段を昇ったときに狭心症が起こるもの。
3	Class III	日常生活に明らかに制限のあるもの。1～2ブロック（50～100m）の平地歩行や自分のペースで階段を昇っても狭心症が起こるもの。
4	Class IV	不快感なしに日常生活ができず、安静時にも狭心症状があるもの。

Q&A

Q：分類不能な場合はどのように扱えばよいのか。
 A：分類不能の場合は入力を要さない。

Q&A

Q：狭心症の症状がなければ入力しなくてよいのか。
 A：よい。

(20) 急性心筋梗塞（050030, 050040）における入院時の重症度：Killip分類

急性心筋梗塞（050030, 050040）に該当する患者について、入院時のKillip分類を“1”～“4”までの値により入力する。

値	分類	所見
1	Class 1	心不全の兆候なし
2	Class 2	軽症～中等症の心不全（肺ラ音、3音、静脈圧上昇）
3	Class 3	重症心不全、肺水腫
4	Class 4	心原性ショック（収縮期血圧<90mmHg、末梢循環不全（乏尿、チアノーゼ、発汗））

Q&A

Q：分類不能な場合はどのように扱えばよいのか。
 A：分類不能の場合は入力を要さない。

(21) 肝硬変のChild-Pugh分類

入院時又は肝硬変が発症した時点での下表の分類にそって各分類の値を決め、そのScoreを連ねて入力する。
 Bil=1, Alb=2, 腹水=1, 脳症=3, PT=2の場合は“12132”と入力する。

Score	1	2	3
Bil (mg/dl)	<2	2-3	3<
Alb (g/dl)	3.5<	2.8-3.5	<2.8
腹水	なし	軽度	中等度
脳症	なし	Grade1-2	Grade3-4
PT (s)	1-4	4-6	6<
(%)	80%<	60-80%	<60%

Q&A

Q：いつの時点のものを入力するのか。入院時点か。
 A：親・子様式1それぞれの該当期間内における最も悪い時点の状態を入力する。